

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表

令和7年5月1日

事業所名 ぱびるすばんび(個別療育型)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動に合わせた環境設定を行っている	活動内容のレイアウトを工夫している
	2	職員の配置数は適切である	○		利用児童に応じた人員を確保している	児童の特性に合わせた対応を考慮
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		意見を出し合い都度検討している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	個々のケース会議を継続している	レベルアップされたPDCAサイクルを検討中
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表や日頃の保護者からの声を大切に受け止め改善策へとつなげている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年度ホームページ上で公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		評価結果はスタッフ間で共有している	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月研修動画にて受講している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者との面談の時間は貴重でありその内容は大切に支援へ反映している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		専門機関の情報も含めてスタッフ間で共有している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別療育において活動プログラムは重要であり定期的な見直しも実施されている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個別療育において活動プログラムは重要であり定期的な見直しも実施されている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		課題の見直しは定期的を実施されている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者からの要望も踏まえた支援計画を作成	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		個別支援において情報の共有は児童の情緒面にもつながることなので日々確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		振り返った支援内容は明日へとつないでいる	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		HUG(情報共有アプリ)においてその日の記録は明確に記載している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリング及び見直しの時間は確立されている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインに沿った支援の見直しを実施	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		事業所間での情報共有は大切に支援へとつながれている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時などを利用し児童の情報共有を実施	個別療育における年間行事予定表作成中
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療ケアを必要とする児童の在籍はない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		他施設・事業所との情報共有は丁寧にされている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		このケースに値する児童は在籍しておらず	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		利用児童の療育支援に関する情報共有は連携されていると感じる	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		個別療育においては交流する機会は少ない	限られた時間の中で検討していきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		参加したことはあるが毎回ではない	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		HUG(情報共有アプリ)においてその日の記録は明確に記載している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者からのお困りごと等の相談は日時を合わせ丁寧に対応している	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		まずご契約時に必要事項等丁寧に説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		時間を調整し事業所内にて家族支援も継続して行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		希望を募り実施予定中	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情やお困りごとなど迅速丁寧に対応を心がけている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事予定などの連絡は毎回お伝えしている	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報等は厳重に注意を払っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お迎え時やHUGにて情報共有につとめている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		淀川花火大会の際当所屋上を地域の方にも開放し、一緒にバーベキューを行った	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	マニュアル作成はされているが、まだ全員にはお伝えできていない	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	定期的に避難訓練は実施されている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	虐待防止法等の内容も含めた研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	身体拘束を含む児童は在籍していない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アセスメントの際に食物アレルギーや病等について情報共有を行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	研修内でもヒヤリハットの事例を含め共有されている	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。